

学校の教育目標

豊かな心で協力し合える子ども
自ら学び創造し、深く考える子ども
何ごとにも進んでやりぬく強い子ども

令和7年度の教育重点目標

愛いっぱい 元気いっぱい 希望あふれる愛国小
～愛国の良き風土のもと、自律した学び手の育成を目指す～
～Cha Cha Cha～なりたい自分になる～

学校教育目標から研修を進めて考える目指す子ども像（二年次）

- ・豊かな心で協力し合える子ども（協働的な学び）
- ・自ら学び創造し深く考える子ども（主体的な学び）
- ・何ごとにも進んでやりぬく強い子ども（個別最適な学び）

『確かな考えで、豊かに表現できる子どもの育成』

～自己調整のできる、自律した学び手の育成を目指して～

研究仮説

- 自己調整のできる学習方法（自由進度学習）を習得することにより、子どもたちは主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けることができるだろう。
- 自分の考えや計算・筆算・図形などを、ノートやICT機器を効果的に活用することで、自分の考えを整理し、表現することができるだろう。

研究の内容1

- ①個別最適な学びの指導方法について
- ②主体的な学びの指導方法について
- ③協働的な学びの指導方法について

研究の内容2

- ①ミライシードを始め、ICTの活用方法について
- ②ノート指導の研究について
- ③発表、説明など表現方法の工夫について

支持的風土のある学級経営

基本的な生活習慣・学習習慣の定着

「確かな学力」を基盤とした生きる力